



会期	2026年8月22日(土)~9月23日(水・祝)
開館時間	午前10時~午後6時
会場	A-LAB (えーらぼ) 尼崎市西長洲町 2-33-1
休館日	火曜日 (9月22日は開館)
入場料	無料
主催	尼崎市

開催要旨

自然の風景や環境をモチーフに、見えない力やその存在に目を向けて作品を制作しているアーティスト、武雄文子と筒井夏鈴による二人展「CONNECT」を開催します。

私たちは自然の中に身を置くと、光、風、温度、湿度など、その場にある様々な要素とのつながりを肌身に感じます。目には見えないけれど、そうした要素の循環、変化、相互作用の流れの中に、私たちも存在していることに気づくのです。銅版画家の武雄文子は、風景の中に含まれている光を、分光（スペクトル）の原理によって引き出し、元のイメージに重ね合わせることで、揺らぎのある新たな光景を生み出します。映像作家の筒井夏鈴は、映像・写真による表現のほか、現場の音や影、空気の流れなどを展示の要素として取り込み、鑑賞者に環境とのつながりを意識させる空間を構成します。

両作家は、2025年に開催した夏の思い出ワークショップ「A-LAB GO+」の講師を務め、それぞれ独自の技法や考え方にもとづいた作品制作の楽しさを教えてくれました。本展で紹介する作品群は、その時に学んだ創作の視点や可能性、さらには世界と私たちとの見えない結びつきへの興味をさらに広げてくれることでしょう。ぜひA-LABで少し不思議なアート体験をしてみてください。

関連イベント

作品解説会

日時：9月5日（土）午後2時～午後3時30分

出展作家による解説を聞きながら作品を鑑賞します。申込不要

広報用画像

このプレスリリースに掲載されている画像データ（※5～7ページ参照）をプレス掲載用にご用意しております。下記の使用条件をご了承の上、A-LABまでお申し込みください。

使用条件：

- ・ 広報画像の掲載には各画像のキャプション、クレジットを表示ください。
- ・ トリミングや画像加工などはご遠慮ください。
- ・ アーカイブのため、後日掲載紙、URLなどをお送りください。

以上、ご協力の程、何卒よろしく願いいたします。

問い合わせ先

A-LAB（午前 10 時～午後 6 時 * 火曜日休館）

担当：田野、北村

電話 / FAX 06-7163-7108 メール amalove.a.lab@gmail.com

尼崎市文化振興課（平日：午前 9 時～午後 5 時）

担当：山城、原田

電話 06-6489-6385 / FAX 06-6489-6702

出展作家

■武雄 文子（たけお あやこ）

1994 年 大阪府出身 京都在住

2019 年 京都市立芸術大学大学院 美術研究科 修了



銅版画家。「物質」と「光」の二重性のある表現手法で、ものや風景の内面や存在感を浮き彫りにすることを探求しています。

【主な個展】

2022 年「Decalomania of vision」、ギャラリー恵風、京都

2022 年「Relic」、GAMOYON Gallery、大阪

2024 年「trace a lake」、GAMOYON Gallery、大阪

2025 年「Spectacular ponds」、ギャラリー恵風、京都

【主なグループ展】

2022 年「てんかいするメソッド」、成安造形大学 キャンパスが美術館、滋賀

2022 年「漁師と芸術家～琵琶湖を問う、琵琶湖を読む～」、津市立和邇図書館、滋賀

2023 年「日韓藝術通信8」、インサ・アート・センター、韓国ソウル市

2023 年「第 41 回上野の森美術館大賞展」、上野の森美術館、東京

2024 年「日韓藝術通信9 カッカプロ モルダ、モルゴ カッカプダ | 近くて遠い、遠くて近い」、The Terminal KYOTO、京都

2025 年「Kyoto Art for Tomorrow 2025 一京都府新鋭選抜展一」、京都文化博物館、京都

2025 年「漁師と芸術家 - なみとしまのあわいで -」、滋賀県立美術館、滋賀

2025 年「残像をなぞる 一武雄文子・会見貫太朗2人展 版画・日本画一」、コミュニティプラザ 百花堂、鳥取

2025 年「第 27 回雪梁舎フィレンツェ賞展」、雪梁舎美術館、新潟・東京都美術館、東京

2026 年「第 44 回上野の森美術館大賞展」、上野の森美術館、東京

出展作家

■筒井 夏鈴 (つつい かりん)

2001年 尼崎市出身

2026年 京都精華大学大学院 芸術研究科映像領域 入学



映像作家。自然や日本の文化をモチーフに、鑑賞者が自然と向き合ったときの感覚を呼び起こす「自然の再現」をテーマに作品を制作しています。

【主な展覧会】

2024年「node」、京都精華大学ギャラリー kara-S、京都

2025年「cycle」、京都精華大学ギャラリー Terra-S、京都

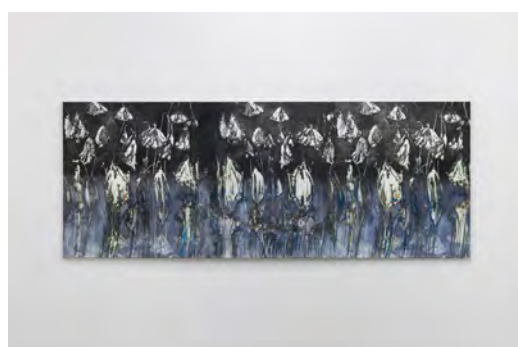
参考図版



1



2



3



4



5



6

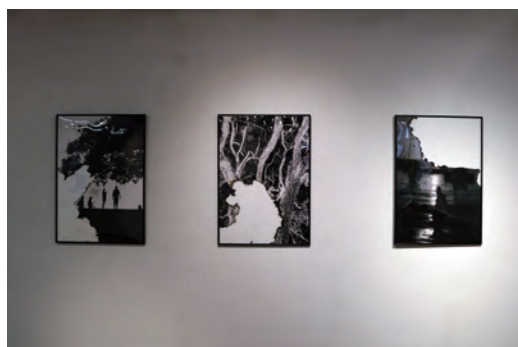
参考図版



7



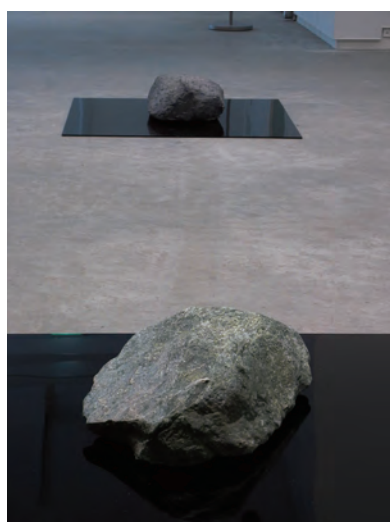
8



9



10



11



12-1

参考図版



12-2



13

<画像情報>

作者名 | タイトル | 制作年

1. 武雄文子 | trace-Eri- | 2024
2. 武雄文子 | lotus Feb. | 2024
3. 武雄文子 | Spectacular pond | 2024
4. 武雄文子 | Spectacular carp | 2024
5. 武雄文子 | 汽水域 #01 | 2025
6. 武雄文子 | 汽水域 #04 | 2025
7. 武雄文子 | 汽水域 #6-18 | 2025

作者名 | タイトル | 制作年

8. 筒井夏鈴 | 行雲流水 | 2022
9. 筒井夏鈴 | 解放 vol.1-vol.3 | 2024
10. 筒井夏鈴 | 幻燈 — cube — | 2024
11. 筒井夏鈴 | ISI | 2025
- 12-1. 筒井夏鈴 | Patina | 2025
- 12-2. 筒井夏鈴 | Patina | 2025
13. 筒井夏鈴 | 此处 — Asyl — | 2025

次回展

A-LAB Exhibition Vol.53

新鋭アーティスト発信プロジェクト「A-LAB Artist Gate'26」

2026年10月24日(土) ~ 12月6日(日)

本プロジェクトは、今後活躍が期待される若手アーティストによるグループ展として毎年開催しているもので、11回目となる今回は令和8(2026)年春に大学・専門学校を卒業、または大学院を修了した方が出展します。

平成28(2016)年に初開催して以来、これまで66人のアーティストを紹介してきました。これまで以上に本展が若手アーティストたちの本格的な作家活動の一步として、今後大きく羽ばたいていくことを期待します。